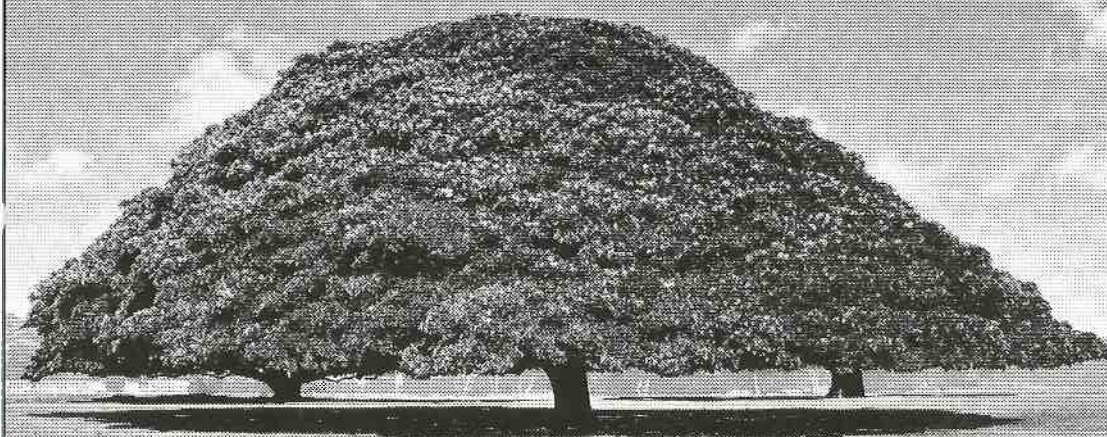


 **HITACHI**  
— 技術の日立 —



最先端の技術を使って  
暮らしに新しい便利さや楽しさを  
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。  
それが、人と技術の理想をめざす  
日立の「インターフェイス」の願いです。

# Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。



# 第11回アジア大会

## 韓国がアベックで金メダルを獲得 日本男子は銀メダル、女子は第5位

第11回アジア大会は、9月26日から10月5日まで中国・北京で開催された。

今回の大会は、8月にイラクのクウェート侵攻に伴い、イラクを大会からしめ出して開催されるといった政治の影を落とした大会となったが、ハンドボール競技は、男女各6か国が参加してリーグ戦で行なわれた。

男子では、日本は初戦でライバル韓国と対戦、1点を争う激しい試合の末惜しくも敗れ、第2位・銀メダルに終わった。金メダルは5戦全勝の韓国、銅メダルはサウジアラビアが獲得した。

一方の女子は、やはり韓国が圧倒的な強さを見せて金メダルを獲得した。日本は今一つ調子に乗れず苦しい戦いをつけ、最終戦で銅メダルを賭けタイペイと対戦した。この試合22-22でいったん試合終了かと思われたが、大会本部が延長戦を指示、延長で日本が27-25で制し、日本が銅メダル獲得かと思われたが、翌日アジアハンドボール連盟(AHF)はこの延長戦を無効とし、引き分け試合と

した。この結果、中国が銀メダル、タイペイが銅メダル、日本は第5位となった。  
日本ハンドボール協会は、後日このAHFの決定を不服として抗議書を送っている。

### 大会成績

#### 男子

中	国	34	1915	8	7	15	北朝鮮
サウジアラビア	29	1613	1211	23	アラブ首長国連邦		
韓	国	26	1016	1512	25	日本	
日	本	18	9	9	7	16	サウジアラビア
中	国	33	1716	10	9	19	アラブ首長国連邦
韓	国	38	1820	1710	27	北朝鮮	
北朝鮮	37	2017	1511	26	アラブ首長国連邦		
韓	国	34	1717	1213	25	アラビア	

日	本	29	1316	9	12	21	中国
韓	国	32	1715	1110	21	アラブ首長国連邦	
日	本	33	1716	9	8	17	北朝鮮
サウジアラビア	19	127	6	12	18	中国	
サウジアラビア	27	1215	1515	27	北朝鮮		

※延長戦が行なわれ、32-31でサウジアラビアが勝ったが、後に延長は無効となる。

#### 女子

中	国	37	2215	2	1	3	香港
韓	国	32	1715	1211	23	日本	
タイペイ	25	1213	1013	23	北朝鮮		

北朝鮮	26	1616	1311	24	日本		
韓	国	40	1921	1012	22	香港	
中	国	30	1614	13	6	19	タイペイ
タイペイ	37	1819	13	5	18	香港	
中	国	27	1215	1011	21	日本	
韓	国	40	2119	1910	29	北朝鮮	
韓	国	31	1516	11	7	18	タイペイ
中	国	27	1215	1011	21	日本	
日	本	22	1111	1012	22	タイペイ	
北朝鮮	41	2120	8	6	14	香港	
中	国	26	8	18	1311	24	北朝鮮
日	本	35	1520	2	3	5	香港

### アジア大会を振り返って

総監督・市原則之

第11回アジア競技大会は、全競技に於いて威信をかけた中国の圧倒的な強さを誇示した大会となったが、運営面では種々の無理が生じて全体的に沢山の問題を残して終了した大会でもあった。

中でもハンドボール競技に於ける女子の順位決定方法については、国際慣行から離脱した、言はば「チャイナルール」の適用を主張するという誠に不可解な方法で混乱を招き、それを抗議するも警官隊の動員により阻止するという未だかつて例のない事態を引き起こしてしまった。この煽を食った日本女子は、国際ルールなら3位であるべきところ5位という不本意な順位に甘んじ、この裁定を不服とした日本協会は現在アジア連盟と

# アジア大会 選手団



男子コーチ  
喜井 美雄  
(本田技研)



男子コーチ  
蒲生 晴明  
(大同特殊鋼)



女子監督  
緒方 嗣雄  
(大和銀行)



男子監督  
津川 昭  
(湧永製薬)



総監督  
市原 則之  
(湧永製薬)



G K ⑬  
秋吉 哲男  
(大同特殊鋼)  
190cm、85kg、25才



G K ⑫  
橋本 行弘  
(本田技研)  
185cm、80kg、25才



G K ⑪  
矢内 浩  
(大崎電気)  
189cm、85kg、30才

## 男子



ドクター  
敦賀 一郎  
(浜脇病院)



女子コーチ  
水上 一  
(筑波大)



F P ⑦  
河原 隆雅  
(湧永製薬)  
180cm、76kg、26才



F P ⑥  
酒巻 清治  
(湧永製薬)  
180cm、78kg、28才



F P ⑤  
武田 英雄  
(大崎電気)  
177cm、73kg、27才



F P ④  
宮下 和広  
(大崎電気)  
187cm、85kg、29才



F P ③  
玉村 健次  
(湧永製薬)  
182cm、77kg、29才



F P ②  
田口 隆  
(本田技研)  
182cm、78kg、29才

エリーが延長戦を行なうよう要請してきた。何のことやらと疑問を抱きながら再度勝利に執念を燃して延長戦を勝ち抜いた。試合後、周囲の日本3位という声に、初めてこの試合は決勝リーグとなるため「25パーセントルールのカット」と同時に「延長戦の適用」と解釈し、日本の3位を確信して何とか面目が保てたとスタッフ全員胸をなげ下ろした。また、翌朝の中国のテレビ、ラジオでも日本女子のブロンズ(銅)メダル獲得のニュースが流れたことも一層3位の確信を強めた。

しかしながら、表彰式当日北朝鮮3位というニュースが飛び込んできたため、すぐに大会本部に駆けつけると、すでに昨日の延長戦を無効としてその部分の一切の記録も抹消されていた。当然日本チームは抗議するも、その執拗さに警官隊導入によつて阻止し、ついに抗議断念しなければならぬ状態となった。

結局二転三転で台湾3位、日本5位という誠に不可解な結果となつて、しかもそれらの決定を関係国に一切伝達されぬという前代未聞の事態となり、今後に大きな禍根を残す大変あと味の悪い大会にしてしまった。

アジア大会での女子の不成績の責任を転嫁するつもりは毛頭なく、本来日本が北朝鮮に難なく勝つておればこういふ事態を引き起こす

結果にはならなかったと悔いと大きな反省をしているが、アジアの各国のレベルアップが予想以上に進んでいることも否めない事実である。したがって、今後はこうしたルールの解釈の問題や、また運営の方法等について、事前に十分な打ち合わせや情報収集が必要となつてくる。それには今まで乏しかったA H FやI H Fとの関係強化を図り、十分な情報収集が出来るような政治的影響力を有しなればならない。これは強化活動に不可欠な要件であり、是非共早期に実現させなくてはならない。

いづれにしろ、アジア大会は、バルセロナ出場への通過点である。男女各々の監督は沢山の反省と努力目標を残して新たな強化策への挑戦して行くことと思う。男子が限りなく金に近い「銀メダル」を獲得した裏には、「全日本選手への一般公募」から始まり、自衛隊への体験入隊による「降下訓練」等のメンタルトレーニングを重視したアイデアが効を奏したのと思われる。これからは強化も運営もアイデア勝負である。北京のアジア大会の二の舞とならないよう、全関係者のアイデアを全日本チームに反映させ、是非共来年8月の広島でのアジア選手権を成功させ、男女揃ってバルセロナに出場を実現させたい。どうか各位の温かいご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。



F P ⑭  
武田 大伸  
(日新製鋼)  
182cm、76kg、26才



F P ⑬  
魚住 和彦  
(大崎電気)  
188cm、75kg、23才



F P ⑪  
斉藤慎太郎  
(山形教員)  
188cm、78kg、25才



F P ⑩  
首藤 信一  
(大崎電気)  
186cm、85kg、25才



F P ⑨  
山村 敏之  
(本田技研)  
177cm、70kg、26才



F P ⑧  
甲斐 章義  
(大崎電気)  
183cm、71kg、24才



F P ②  
武津 優子  
(オムロン)  
171cm、59kg、23才



G K ⑯  
村山みどり  
(東女体大)  
176cm、67kg、21才



G K ⑫  
小松崎浩子  
(日体大)  
180cm、63kg、21才



G K ①  
増見 美果  
(大和銀行)  
170cm、63kg、23才



F P ⑮  
中山 剛  
(福岡大)  
191cm、75kg、21才



F P ⑧  
上村多恵子  
(大和銀行)  
158cm、58kg、23才



F P ⑦  
西村 聖子  
(武庫川女大)  
174cm、67kg、19才



F P ⑥  
松田 史佳  
(北国銀行)  
161cm、56kg、22才



F P ⑤  
松沢 祐子  
(シャトレーゼ)  
160cm、56kg、23才



F P ④  
丸田 紀子  
(大和銀行)  
171cm、62kg、25才



F P ③  
梅原 直美  
(大崎電気)  
182cm、72kg、25才



F P ⑮  
比嘉 晴美  
(オムロン)  
162cm、51kg、21才



F P ⑭  
竹吉 由江  
(日体大)  
164cm、57kg、20才



F P ⑬  
小松 晃子  
(シャトレーゼ)  
177cm、67kg、21才



F P ⑪  
市来 未央  
(日立栃木)  
159cm、67kg、22才



F P ⑩  
小池美由紀  
(大和銀行)  
164cm、58kg、22才



F P ⑨  
畠川亜由美  
(大和銀行)  
173cm、67kg、23才



Châteraisé



株式会社シャトレーゼ

山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15  
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

21世紀に向けて、  
さらび大きく飛躍しようとしています。

シャトレーゼのお菓子は山梨育ち。  
日本の果実郷と極上の酪農地帯です。  
澄んだ空気と豊かな自然を、  
満載しています。  
そして、日本中をおいしい笑顔でみなとうと  
シャトレーゼのフレッシュバター、  
ハンドボール部ともども、

召しませ自然。



# 第12回東日本学生選手権

## 東女体大はV5を達成 早大が3年ぶりの栄冠

第12回東日本学生選手権は、福井市で8月19日から23日までの5日間、男子32校、女子16校が参加して熱戦をくり広げた。

男子は早大と国士大の決勝戦となったが、早大が後半立ち上がりで逆転、一気に引き離して3年ぶり2回目の優勝を決めた。

女子は、V5を目ざす東女体大が決勝戦で日体大と大熱戦を展開、延長戦後半で何とかふり切った。見事V5を達成した。

### 男子

#### ▼予選リーグAブロック

早大	27	14	北	大
東大	19	17	北	大
早大	24	14	東	大
北大	23	18	東	大
早大	38	16	東	大

(順位)①早稲田大②東京学芸大③北海道大④東京理科大

#### ▼同Bブロック

国士大	33	11	東	福大
国士大	28	24	東	福大
国士大	22	19	国	武大
国武大	31	16	富	山大
東福大	24	19	富	山大
国士大	35	10	富	山大

(順位)①筑波大②新潟大③北海学園大④福島大

#### ▼同Cブロック

日体大	23	15	明	大
日体大	31	8	札	幌大
日体大	37	5	札	幌大
日体大	34	10	東	北大
明大	30	13	東	北大
東北大	35	12	札	幌大

(順位)①日本体育大②明治大③東北大④札幌大

#### ▼同Dブロック

中	16	13	中	大
法	24	15	仙	台大
法	28	9	福	井大
中	38	14	福	井大
法	32	16	福	井大
仙台大	25	14	福	井大

(順位)①法政大②中央大③仙台大④福井大

#### ▼同Eブロック

筑波大	36	14	新	潟大
新潟大	32	20	北	海学園大
筑波大	32	14	北	海学園大
筑波大	39	9	福	島大
新潟大	27	12	福	島大
北海学園大	26	19	福	島大

(順位)①筑波大②新潟大③北海学園大④福島大

#### ▼同Fブロック

函館大	15	12	日	大
函館大	45	5	信	州大
函館大	36	4	信	州大
函館大	22	16	慶	大
日大	13	6	慶	大
慶大	32	16	信	州大

(順位)①函館大②日本大③慶応大④信州大

#### ▼同Gブロック

岩手大	25	18	岩	手大
岩手大	22	12	金	沢大
岩手大	36	6	金	沢大
岩手大	16	15	横	浜商大
順大	31	9	横	浜商大
順大	25	11	金	沢大

(順位)①順天堂大②岩手大③横浜商大④金沢大

#### ▼同Hブロック

金沢工大	22	6	小	樽商大
東海大	15	11	小	樽商大
東海大	22	7	金	沢工大
東海大	29	16	東	北学院大
東海大	16	14	東	北学院大
東海大	17	13	小	樽商大

(順位)①東海大②金沢工業大③東北学院大④小樽商科大

#### ▼決勝トーナメント1回戦

筑波大	26	10	東	女体大
筑波大	0	11	信	州大
筑波大	1	11	信	州大
筑波大	5	1	北	女短大

23日 日体大

### 女子

#### ▼予選リーグAブロック

早大	27	12	東	海大
早大	34	7	富	山大
早大	47	11	富	山大
早大	36	6	富	山大
早大	29	22	富	山大
早大	24	12	富	山大

(順位)①日本体育大②東海大③福島大④富山大

#### ▼予選リーグBブロック

国士大	14	13	北	女短大
国士大	13	14	東	海大
国士大	18	10	日	体大
国士大	10	9	函	館大
国士大	10	9	函	館大
国士大	10	9	函	館大

(順位)①筑波大②東北福祉大③茨城大④仁愛女短大

#### ▼同Cブロック

筑波大	25	11	千	明短大
筑波大	32	4	金	沢大
筑波大	17	8	金	沢大
筑波大	33	10	岩	手大
筑波大	23	19	岩	手大
筑波大	19	18	金	沢大

(順位)①日本女子体育大②千葉明徳短大③岩手大④金沢大

#### ▼同Dブロック

筑波大	18	9	東	女体大
筑波大	9	9	日	体大
筑波大	17	15	日	体大
筑波大	9	9	日	体大
筑波大	9	9	日	体大
筑波大	9	9	日	体大

(順位)①日本女子体育大②千葉明徳短大③岩手大④金沢大

#### ▼同Eブロック

筑波大	28	5	茨	城大
筑波大	33	4	仁	愛女短大
筑波大	18	14	仁	愛女短大
筑波大	27	7	東	福大
筑波大	31	9	東	福大
筑波大	28	13	仁	愛女短大

(順位)①筑波大②東北福祉大③茨城大④仁愛女短大

#### ▼同Fブロック

筑波大	10	9	日	体大
筑波大	10	9	日	体大
筑波大	10	9	日	体大
筑波大	10	9	日	体大
筑波大	10	9	日	体大
筑波大	10	9	日	体大

(順位)①筑波大②東北福祉大③茨城大④仁愛女短大

#### ▼決勝

筑波大	13	14	筑	波大
筑波大	13	14	筑	波大
筑波大	13	14	筑	波大
筑波大	13	14	筑	波大
筑波大	13	14	筑	波大
筑波大	13	14	筑	波大

22日 女体大

第29回(女子20回)西日本学生選手権

# 大阪体大が男女アベック制覇

第29回(女子20回)西日本学生選手権は、8月18日から22日までの5日間、広島市の呉市体育館に男子32校、女子16校が参考して開催された。

男子決勝は、大阪体大と福岡大の顔合せとなったが、大阪体大が延長戦の末1点差で制し、4年ぶり15回目の優勝を飾った。一方女子は、三連覇を狙う武庫川女大と大阪体大の対戦となったが、大阪体大がせり勝ち、3年ぶり7回目の優勝を飾るとともに、見事男女アベック優勝を成し遂げた。

## 男子

▼予選リーグAブロック

福岡大	24	9	愛知大
福岡大	23	16	近大
福岡大	26	17	山口大
近大	20	14	山口大
近大	14	13	愛知大
山口大	21	20	愛知大

(順位)①福岡大②近畿大③山口大④愛知大

▼同Bブロック

桃山大	39	16	九大
桃山大	25	11	広島大
桃山大	25	12	名大

▼同Cブロック

立命大	25	17	佛大
立命大	26	16	松山大
立命大	15	14	中京大
中京大	29	8	松山大
中京大	28	14	佛大
佛大	26	20	松山大

(順位)①立命大②中京大③佛大④松山大

▼同Dブロック

大経大	27	10	愛媛大
大経大	34	10	関外大
大経大	41	10	九産大
愛媛大	24	15	九産大
関外大	17	10	関外大
関外大	22	15	九産大

(順位)①大阪経済大②愛媛大③関西外語大④九州産業大

▼同Eブロック

中部大	33	13	香川大
中部大	25	17	関西大
中部大	27	13	大教大
中部大	20	12	大教大
関西大	24	16	香川大

▼同Fブロック

東和	25	16	愛教大
東和	24	18	天理大
東和	26	17	同大
同大	19	17	天理大
同大	29	16	愛教大
天理大	26	17	愛教大

(順位)①東和②同志社③天理④愛知教育大

▼同Gブロック

名城大	34	17	第一工大
名城大	21	14	京教大
名城大	19	12	京産大
京産大	20	17	京教大
京産大	42	19	第一工大
京教大	29	21	第一工大

(順位)①名城大②京都産業大③京都教育大④第一工業大

▼同Hブロック

大體大	32	8	国際大
大體大	40	7	高知大
大體大	25	12	愛学大
大體大	30	12	高知大
愛学大	26	13	国際大
国際大	26	13	高知大

(順位)①大阪体育大②愛知学院③京都教育大④愛知教育大

大③沖縄国際大④高知大  
▼決勝トーナメント1回戦

福岡大	32	14	18	13	8	21	桃山大
大経大	24	15	9	3	4	7	立命大
中部大	26	12	14	12	8	20	東和
大體大	30	18	12	12	8	20	名城大

▼準決勝

福岡大	20	19	18	18	19	大経大	
大體大	25	11	14	11	9	中部大	
大経大	29	15	14	11	8	19	中部大

▼3位決定戦

大體大	27	2	3	11	11	26	福岡大
		2	2	12	10		

▼決勝

大體大	20	10	10	9	9	18	武女大
-----	----	----	----	---	---	----	-----

## 女子

▼予選リーグaブロック

武女大	35	6	京教大
武女大	29	8	佛大
武女大	38	4	愛教大
武女大	21	14	愛教大
佛大	19	13	京教大
佛大	19	9	愛教大

(順位)①武庫川女子大②佛大③京都教育大④愛知教育大

▼同bブロック

中女大	26	9	高知大
-----	----	---	-----

▼決勝

大體大	20	10	10	9	9	18	武女大
-----	----	----	----	---	---	----	-----

▼同Cブロック

立命大	39	13	九女大
立命大	33	4	広島大
立命大	23	6	中京大
中京大	21	10	広島大
中京大	24	14	九女大
九女大	17	16	九女大

(順位)①大阪体育大②中京大③広島大④九州女子大

▼同Dブロック

福岡大	26	15	愛媛大
福岡大	27	18	関外大
福岡大	21	15	大教大
関外大	17	14	大教大
関外大	31	12	愛媛大
大教大	22	14	愛媛大

(順位)①福岡大②関西外語大③大阪教育大④愛媛大

▼決勝トーナメント1回戦

武女大	31	15	16	12	5	17	中女大
大體大	24	9	15	8	10	18	福岡大
中女大	31	14	17	14	13	27	福岡大
		14	13				



# 第1回女子ジュニアアジア選手権大会

## 韓国が初代チャンピオンに 日本は4位に終る

第1回女子ジュニアアジア選手権は、7月8日から13日まで、中国合肥市で5か国が参加して開催され、リーグ戦の結果、韓国が4戦全勝で初代チャンピオンの座についた。日本はインドを破ったものの、第4位に終わった。

### 成績

中国	33	11	インド
韓国	29	15	10
韓国	30	12	台湾
中国	34	15	19
台湾	18	8	10
韓国	40	9	インド
韓国	29	19	中国
台湾	29	15	インド
日本	33	18	15
台湾	23	22	中国
中国	19	15	インド
インド	19	15	中国
中国	19	15	中国
中国	19	15	中国

### ●報告●

殿水 幸雄

第1回女子ジュニアアジア選手権大会は、来年9月の女子ジュニア世界選手権大会のアジア予選を兼ねて7月8日より中国・安徽省合肥市で中国、韓国、中華台北、インド、日本の5か国の参加により行なわれた。

安徽省合肥は上海から北西へ汽車で約10時間、緑豊かな美しい街で、中国の中でもハンドボールが盛んな都市であり、過去にも国際女子ハンドボール大会などが開催されている。一般市民もハンドボールへの関心は高く、連日5千〜7千人の観衆で埋まり、街中にはいたるところに「熱烈歓迎 亞洲女子手球健八」の横断幕があり、受け入れ側の熱意が参加者の我々に肌で感じられた。

この大会は、今後2年に1度に行なわれる予定といわれるが、次回開催地はまだ決まっていないようである。

今大会の大きな特色は、インド

チームの参加であろう。今までアジアの大会にはほとんど顔を見せたことのないインドチームが参加したことは、顔、形の似通った中国、韓国、台北、日本にひときわ異彩を放ち、アジア選手権にふさわしい雰囲気を出してくれた。チームは中学生を含む高校生中心のチームだそうだが、実力的には日本のインターハイに出場する高校生のレベルである。しかし、この大会を通じ毎試合ごとに力をつけ向上したことは衆目の一致するところであり、参加の意義は十分あったと思う。今後とも参加してくれることを心から願いたい。

さて一方我々日本チームは、本年4月に選ばれた36名の候補選手より選抜した20名の選手から15名の選手に参加してもらった。年齢は17〜19歳で、社会人7名、大学生3名、高校生5名（2年生2名）で構成され、この内10名は5月カナダで行われたチャレンジカ

ップ90に参加し、海外遠征は2回余談となるが、このチームの中で4名の高校生を参加させていたのだ。宣真高校（大阪）は、インターハイを間近に控えての長期間の主力選手のチーム離脱は、インターハイ優勝の使命を背負っている中で大変な英断であったことを思うと、校長、監督をはじめとする学校関係者の寛大かつ長期的展望に立った配慮に心から感謝すると同時に現在の各チームのエゴや建て前主義に示唆するところ大であるやに思う。（インターハイ優勝を逸した宣真高校には申し訳ない思いです）。

さて今回の日本チームの特色は平均身長165cmと小柄で、大型大砲がなく、スピードとテクニクของทีมといえる。技術的には従来になくレベルが高いが、アジア各国が大型化しパワフルになってきている現状を考えるともっとスピードとスタミナがなくは対抗できない。

今大会を通じ特に感じたのは、中国、中華台北の台頭であろう。いずれもナショナル強化につなげる長期展望に立ったチームづくりをしているように思える。

試合結果は、当初の予想通り韓国の優勝に終わったが、ソウル・オリンピック直前の頃と比較して大きくレベルアップしたとは思われない。自信と気力に合わせ試合好

安城学園 23-12 天 白

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

ホツ コク

# 北國銀行

本店

石川県金沢市下提町

店舗

石川、富山、福井、東京、

大阪、名古屋、京都133ヶ店

事務所

ニューヨーク

者ぶりが目についた。中国、中華台北の急追とオリンピック優勝で勝ち取った世界一のハンドボールをこれからどう維持、育成し、新しい飛躍をつくり出してゆくのだろうか。大変注目されるところだ。中国は大型選手を揃えており、今後日本にとって大きな壁となろう。さて、今回のアジア選手権に滞り、今更だに、今後の日本ハンドボールの強化について私なりに感じたことを素直にいわせてもらおうと、アジア諸国のレベルアップのスピードに対しやや遅れが見え出した日本としては、強化対策として今までのようなバランスのとれたあたりさわりのないような選手を選び、スタッフの決定等々から思い切ったいちかばちかの選択が必要ではないだろうか。それも2、3年のチームではなく5、6年先を展望した一貫体制の確立が望まれる。

スタッフの選定も長期展望でジュニアからナショナルへと同一メンバーが引き継いでゆく体制が必要で、ジュニアはジュニアでその時限りでは、いつまでたつても先を見越した対策がとれないのではないだろうか。

特に女子の場合は、スタッフと選手との信頼関係の確立が肝要であり、ドクターを含めてスタッフの固定化が望まれる。

また、女子ジュニアにはナショナルOGクラスのスタッフを入れ、

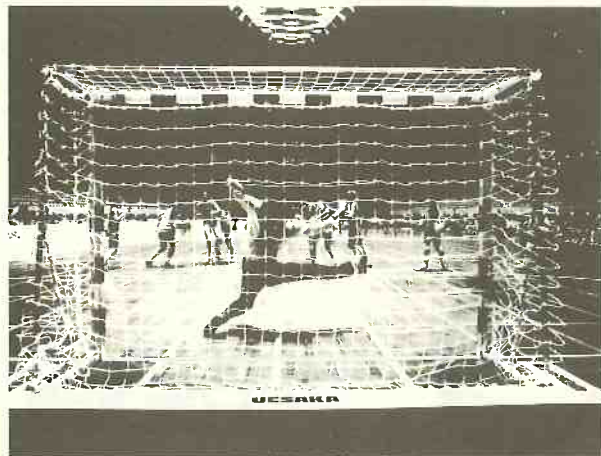
コーチングスタッフとのパイプ役となる人材の導入はいかがなものか。女性という特殊性とジェネレーションギャップを少しでもうまくいく必要もあるのではないだろうか。また、身近な同性の先輩を通じてジュニアの時からナショナルを前提とした精神的な訓練、教育も必要ではないだろうか。

いずれにしても少し長い目で思い切った施策が必要で、八方美人的発想ではもうどうしようもない危機に面しているのではないだろうか。このあたりで何かに賭けてみてはどうだろうか。

同行させていただいたスタッフ、選手のみなさんの大きな飛躍、成長を期待すると同時に、これらを大きく育ててゆく協会、ハンドボール関係者の明解かつ思い切った施策とバックアップをお願いしたい。



# GOAL UESAKA



- ※GM-60 ゴールポスト クロスバー 80mm角R付(木製) 支持わく鋼管製 ネットフック・土台フレームゴム付
- ※GM-60A ゴールポスト クロスバー 80mm角R付(アルミニウム合金製) 支持わく鋼管製 ネットフック・土台フレームゴム付

**日本ハンドボール協会検定工場**  
 国際ウエイトリフティング連盟認定工場  
 日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売  
 日本体操協会器械器具  
 日本バスケットボール協会施設  
 日本パドミントング連盟  
 日本アマチュアボウリング連盟  
 日本陸上競技連盟検定品製作販売  
 日本体育施設協会特別会員

**DIA 上坂鉄工所**

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号  
 電話 (03)622-8171(代表)・8096-1758  
 FAX (03)622-8175



# 第2回男子ジュニアアジア選手権大会

## 中国が優勝、日本は4位に終る

第2回男子ジュニアアジア選手権大会は、8月8日から18日までイランのテヘランで8か国が参加して開催された。

前回優勝の韓国は、決勝で中国に惜敗、中国が初優勝を飾った。日本は、準決勝で中国に対し大健闘を見せたが、惜しくも延長戦で敗れ、3位決定戦でもシリアに敗れて4位に終わった。

### 成績

#### ▼予選リーグA組

中国	30	—	26	韓国
中国	24	—	22	台北
中国	25	—	18	カタール
韓国	28	—	22	台北
カタール	34	—	31	韓国
台北	22	—	19	カタール

〔順位〕①中国②韓国③台北④カタール

#### ▼予選リーグB組

シリア	26	—	17	イラン
シリア	39	—	11	インド
シリア	1813	—	1113	日本
日本	1512	—	1214	イラン
日本	1215	—	75	インド

イラン 25 | 17 | インド

〔順位〕①シリア②日本③イラン④インド

#### ▼準決勝

中国	17	11	30日	日本
中国	10	16	3	2
中国	2	1	3	2

韓国 27 | シリア

7 | 8 | 位決定戦

カタール 1615 | 611 | 17 | インド

### ●報告●

監督・早川清孝

イラク軍のクウェート侵攻による中東情勢の変化に不安と期待の交錯する中、第2回男子ジュニアアジア選手権大会は予定通り開催されることとなった。しかし、大会参加を予定していたクウェートをはじめ、パキスタン、北朝鮮の不参加により、大会日程や試合方法等の変更も余儀なくされ、第1回大会の成績によるA、B2つのグループ分け抽選が行なわれ、A、B両グループによる予選リーグを行ない、上位2チームが準決勝および決勝戦を行な

5 | 6 | 位決定戦

台北 1312 | 915 | 24 | イラン

#### ▼3 | 4 | 決定戦

シリア 1518 | 1613 | 29 | 日本

中国 9 | 9 | 8 | 17 | 韓国

〔順位〕①中国②韓国③シリア④日本⑤中華台北⑥イラン⑦カタール⑧インド

うと決定された。わが国とは、環境条件において異なることは事前に把握していたが、摂氏40度の暑さには流石に驚かされ、特に水分の補給には大変苦慮致した。しかも、テヘランの街は標高1300mほどの高原都市であるがために酸素不足等の戸惑いや不安が心配されたが、3日目ぐらにはだいぶ慣れ、コンディション的にはさほど影響なく試合に臨むことができた。試合結果については前掲のごと

く4位という成績に終わったが、各々の試合で日本選手の技術および戦術が十分通用し、選手は勿論、チームとしましてはそれなりに満足度のいく大会であったともいえよう。

今回、優勝致した中国との準決勝戦では、延長を含む70分間におよぶ死闘ともいえるべき戦いは、選手共々生涯忘れられることのできない一戦だった。

試合終了後、選手全員が悔し涙している姿を見るにつけ、心強く、感激させられてしまった。将来、日本のハンドボール界を担うに相応しいチームの団結があり、そして素晴らしい貴重な体験となったことは、今後には大なる期待を抱かせるに十分過ぎるほどの成果といえる。

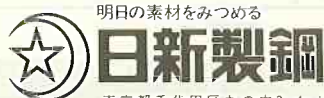
最後に、今回の大会は国内スケジュールの調整が合わず、選手および所属チームには大変ご迷惑をお掛け致しました。心よりお詫び申し上げます。

今後ともジュニア選手育成のため、ご指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

### キャプテン・関根和彦

私はジュニアのアジア選手権に出場するのはこれで2回目です。しかも第1回、第2回ともキャプテンを務めさせてもらいました。2回目ということで前大会よりも肉体的、精神的にも充実してい

新しい時代を作ってゆくのは、  
新しいひらめき。  
そして、ひらめきを実現してくれる  
素材が求められます。  
常に新しい技術で新しい夢をかなえる  
素材をお届けしてきた日新製鋼。  
これからも時代に応える  
新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる

日新製鋼

東京都千代田区九の内3-4-1  
(新国際ビル) ☎03-216-5511 〒100

たと思います。そのお蔭で試合にオール出場できました。

その中で印象に残っているのが3試合あります。まず開会式後の地元イランとのオープンング試合です。この試合は、点を取っては取られるという一進一退の試合でしたが、残り20秒で日本チームが点を決め、日本チームにとつても自分自身にとつても第1戦目をものできたということはとても嬉しいことでした。

その後予選リーグで1敗したものの2位で決勝リーグに進出し、世界大会への出場権を賭けての中国戦のことです。この試合はアツプの時からチーム一人一人に気が入っているのが何となく自分にも感じられました。

試合が始まると一進一退の攻防となったが、前半の途中からミスが出始めて前半を終ってみると6点差になってしまった。ハーフタイムでみんな気持ちをを入れ替えて後半に臨んだが、後半10分で9点まで差を広げられてしまい、自分でもこのままずるずるといつてしまうのでは、と思ったが、仲間同士で楯を飛ばし合った、励まし合ったりしてチームのムードが良くなり、後半を終ってみると同点となりました。その時思ったのですが、ここに来てチームのムードが一番良くなり、チームも一つになったという感じがありました。

延長に入ってからムードは良かったが得点がなかなか入らず、2点差で敗れてしまいました。自分にとって、チーム一人一人にとつていい経験にもなり、いい思い出になったと思います。

最後に、印象に残っているのが3位決定戦です。この対戦相手が予選リーグで一度戦って敗れているシリアでした。手の内はわかっていたのですが、守り切れず、最後までずるずるといつてしまいました。しかし、この試合も中国戦のように一時は同点に追いついてチームはムードはとてもよかったです。

この大会を通じてすごくいい経験ををしたと思いますし、この経験を生かして、日本に帰ったら自分のハンドボールに磨きをかけていきたいと思っています。前大会は7位だったのですが、今大会は上位進出を狙い、それが達成できてすごく嬉しかったです。

### 戦評

日 本 27 (1512 | 1214) 26 イラン

〔戦評〕オープンングセレモニー直後の第1戦となった地元イランとの試合である。

立ち上がりやや緊張きみの両チームであった。先制したのはイラン。日本の反則から1分30秒ペナルティースローを決めた。日本もすぐポイントゲッター松本のミドル

ルシュートで同点としたが、イランもサイドからスカイプレーで2-1とする。両チームとも立ち上がりリズムが合わず、その後5分間得点できず一進一退のゲームとなった。

15分過ぎ、イランはペナルティ1、5番SAPK HARVIのミドル、速攻と3連取して8-6とリードして突き放しにかかったが、日本も松本が左45度、セクターとミドルで応戦、前半は12-14とイランリードで折り返した。

後半に入り1分、イラン7番のサイドシュートで3点差となるが日本も松本、田代のミドルで再び1点差とし、なかなかスコアが開かない。日本は17分、GK四方の好プレーから吉田へつなぎ速攻で同点に追いつきペースをつかんだ。20分には中野のペナルティーで遂にリードを奪った。しかしイランも踏ん張り最後までゲームはもつれ残り2分、吉田の退場でピンチを迎えた日本がよく耐えて頑張り残り20秒中野のミドルで決勝点をあげイランをふり切った。

イランはサイド、ポストを中心とした攻撃型のチームで、スカイプレーを織り混ぜた攻撃もでき、かなりレベルアップされていた。

シリア 31 (1813 | 1113) 24 日本

〔戦評〕2戦目を迎えた対シリア戦、このゲーム日本にとっては大きなポイントとなる流れが2回あ

った。立ち上がりシュートミス、パスミスからリズムが乱れ、4連続ゴールを許してしまったことがまず第一に惜しまれる。しかし日本もよく頑張り、6分過ぎ田代がミドルでゲット、8分、10分、11分と田代、木浪、花岡が相ついでゴール、6-5と追い上げた。その後一進一退のゲーム展開で、前半を13-13で折り返したが、15分過ぎからの連続ゴールで逆転した後、ミスが出て追いつかれたのが今一つ波に乗れなかったところである。

後半に入って、10分過ぎまで18-19とシリア1点リードのシリアゲームが続いた。その後11分過ぎに日本にとつて二つ目の流れを変え、パスミスが続き、16分過ぎまでに19-25と一気に突き放されしまった。その後、松本、木浪らが頑張りシュートを決めたが届かず、31-24で完敗した。

シリアは13番FARVATIを中心としたチームで、3番KARIEM、4番MAKHLAS、8番BAGBOGがよくからんで得点まで持っていくチームである。特に13番はワンフェイントでディフェンスをかわした後のクイックのミドルシュートは素晴らしいものを持っていた。

日 本 27 (1215 | 7) 12 インド

〔戦評〕ベスト4入りを賭けて迎えたインドとの第3戦。この試合

も立ち上がりの良くない日本はやもたついていたが、松本、中野、吉田で15分までに9得点をあげ完全に日本チームのペースとなった。その後も田中、田代と加點して25分までに14-2と大きくリードしゲームの主導権を握った。両サイドにプレスをかけ中央で勝負をさせるシステムが成功し、GK四方橋本の好守で失点を最少限に食い止めた。

後半も安定した試合運びで田中、片山が頑張りシュートを決めて加點、27-12で大勝した。大きくリードしたこともあってか、やや大味なゲーム展開となった試合だが、まずはベスト4進出を決めた。

この試合でGK四方が左足ふくらはぎを痛めたことが、今後のゲームにどれくらい影響するか懸念される。インドはまだまだレベル的には低いチームであるが、4番RADHAWAを中心にサイド攻撃を仕掛け、また両45度がステップシュートを狙うチームである。

中 国 32 (10 | 11) (2 | 1) (3 | 2) 30 日 本

〔戦評〕世界選手権出場を賭けた準決勝の対中国戦を迎え、緊張の中にも何となくゆとりを感じさすムードでゲームに入った。先制したのは日本。中野のポストシュートが鮮やかに決まり幸先の良いスタートを切ったが、中国



もすぐに14番JIANのサイドシュートで同点とし、11番JUNのミドルで逆転、速攻で3-1とリード。その後中国のエースDONGと日本・松本の打ち合いとなり、前半15分まで8-7と中国の1点リード。ここで中国は日本のエース松本にマンツーマンに出た。その後、地方に勝る中国がロング、ポスト、速攻でリズムをつかみ、残り10分で7得点と完全に中国ベイスとなり、17-11と6点差で前半を終了。

後半に入っても中国の勢いは止まらず、日本も中国のエースDONGにマンツーマンをするが、11分過ぎまでにポスト、速攻、ロングと多彩な攻撃で一気に10点差まで広がり、勝負あったかに見えた。しかし、12分過ぎから日本はあきらめないでキャプテン関根を中心に怒涛の攻めが始まる。まず12分、サイドから吉田がとび込みゲット、続いて中野のペナルティー2本と珍田が速攻から持ち込み、また関根がサイドシュートと中国以上の多彩な攻めで20分までに7ゴールをあげ25-20と追い上げた。あきらめかけていた日本ベンチもコートでプレーする選手、スタンドで声援を続ける選手もこの勢いに徐々に興奮してきた。日本の攻撃は20分を過ぎてでも休むことなく勢いが増すばかりである。まず22分木浪のロング、センターから関根がカットイン、吉田

のミドル、サイドと4連取で1点差まで追い上げ、競技場内のボルテージは上がるばかり。観客のほとんどは地元イランのハンドボール愛好者で、そのイラン人のほとんどがJapan、Japanの大声援となつて場内は騒然となった。

残り3分、筋書きのないドラマはどのように展開していくのか、ベンチもプレーヤーも一つ一つのプレーに一喜一憂である。

27分30秒、日本に痛いフール。中国のペナルティスローとなり26-24と中国が2点リード。日本も負けじとサイドから吉田が絶妙のシュート。28分30秒、中国3番YONGGがセンターからミドルを決めこままでかと思われた。そこでレフエリタイム。電光石火の時計を確認、残り1分40秒で再開。28分55秒、センター田代がワンフエイントからミドルでゲット、再び1点差。Japan、Japanの声援は一段とボルテージを増した。29分、中国のエースDONGがとびのシュートを放つがゴールをはずし最後のチャンスが日本にめぐつて来た。残り20秒、またもサイド吉田がキーパーの脇腹を破りゴールイン。土壇場で同点に追いつき今大会初の延長戦となった。

今度は田代がセンターからミドルを決め同点、1分、中国はセンターのブロックプレーから3番YONGGが決め再びリード。3分、日本は中野のペナルティスローで同点、4分に中国はポストプレーで日本のフールを誘い、ペナルティスローを決めて遂に息の根を止められた。

途中10点まで引き離されたこのゲーム、後半に入り見違えるほどのプレーぶりで頑張った日本チーム。今一つ精彩を欠いていたキャプテン関根が切り込み隊長となり、サイド吉田の活躍、控えにまわっていた井上、片山、珍田のハッスルプレー、ケガを押して出ているGKの四方、フル出場の中野、ゲームメーカー田代、ロングヒッター木浪、松本、このゲーム控えにまわった田中らの大声援……、とにかく全員が一丸となって戦い抜いた素晴らしいジュニアの歴史に残る一頁を飾った試合であった。

中国チームは今大会屈指のアタッカーDONNGを中心にポストプレーヤーYONGGが各フロウターとうまくからみ、仕掛けてくるチームで、速攻も速く、バランスのとれたチームであった。テクニク的にもレベルアップされている。


シリア 33 [1518-1613] 29日 本

立ち上がり1分30秒、吉田がサイドからまわり込み、ミドルシュートを決め先取点を取つていいムードでスタートした。すかさずシリアも4番がペナルティスローを決め同点、その後1点ずつ加えた後、シリアはエース13番FARVATI、8番BAGBOGが軸となり、ミドル、ポストとうまく展開して8分までに6-2とリード、ペースをつかんだ。日本も9分、中野のペナルティスローで得点、吉田の速攻を足掛りに松本のミドルで1点差まで追い上げたが、15分過ぎからはディフェンスが乱れ、4連取され突き放された。前半は18-13とシリアの5点リードで終わった。13番をマークしながら7得点されたのは、このゲーム最大の誤算であった。

後半に入り、日本ベンチは中国戦に見せた粘り強いものを期待した10分過ぎまでは一進一退の展開で5点差がなかなか縮まない。しかし日本は14過ぎハーフ速攻で関根につなぎゲット、続いて松本、吉田が速攻からスカイプレーで合わせてゲット、松本のミドル、吉田のサイドと4連取、1点差まで追い上げた。20分過ぎ松本のペナルティスローで遂に同点、ペリスをつかんだかに見えたが、残り10分、中国戦のような気迫が今一つ出ず、押し切られた。勝ちチャンスがあつただけに惜しまれるゲームであった。

**スポーツマンのベストコンディションをお約束する、シャンピアホテル。**

**Casual City Hotel**



■料金(税込)

- シングルA.....7,000円
- シングルB.....7,600円
- ダブル・ツイン13,400円
- トリプル.....17,000円
- ファミリー.....20,600円
- 和室.....17,000円

**名古屋シャンピアホテル**


〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858

●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分  
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

■設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機・乾燥機設置 ●VHSビデオ設置

●赤坂シャンピアホテル ●岡山シャンピアホテル ●防府シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国、慶州(キョンジュ) 東京事務所(03)586-7571

**SHANPIA**



■料金(税込)

- シングルA.....6,690円
- シングルB.....6,840円
- シングルC.....7,050円
- ダブル.....9,570円
- デラックスダブル12,870円
- ツイン.....11,940円

**大阪シャンピアホテル**

〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151

●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分  
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

# 各地の記録から...

## 関東

## 東海

関東中学埼玉県予選

(7月7、8日/浦和学院)

(男子)

▼リーグ戦

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

蓮田 15 | 14 中野  
喜沢 20 | 11 上大久保  
蓮田 20 | 10 上大久保

喜沢 17 | 12 中野  
中野 18 | 17 上大久保  
蓮田 15 | 14 喜沢

愛知県高校選手権

(8月1日~3日/県立国府高校)

◎名古屋予選

▼1回戦

瑞陵 18 | 14 鳴海 16 | 15 昭西 19 | 7 日進 19 | 18

瑞陵 21 | 13 名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13

名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11 星城 14 | 13 豊明 25 | 13 享栄 21 | 12 熱田 19 | 6

鳴海 20 | 10 昭和 21 | 16 日進西 14 | 7 星城 18 | 11

東郷 18 | 11 名古屋大谷 21 | 16 同朋 20 | 10 富田 19 | 6

名商大付 25 | 13 名市工 21 | 12 名商大付 19 | 6

中野 15 | 13 天白 14 | 11 南陽 14 | 10 日進 14 | 9

熱田 13 | 9 享栄 14 | 9 名古屋南 13 | 10 松蔭 13 | 10

名古屋南 21 | 13 名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9

昭和 19 | 13 名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11 星城 14 | 13

豊明 25 | 13 享栄 21 | 12 熱田 19 | 6 鳴海 20 | 10

昭和 21 | 16 日進西 14 | 7 星城 18 | 11 東郷 18 | 11

名古屋大谷 21 | 16 同朋 20 | 10 富田 19 | 6 名商大付 25 | 13

名市工 21 | 12 名商大付 19 | 6 名古屋南 21 | 13

名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13

名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11 星城 14 | 13 豊明 25 | 13

享栄 21 | 12 熱田 19 | 6 名古屋南 21 | 13 名古屋南 24 | 10

松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13 名城大付 14 | 10

日進西 14 | 11 星城 14 | 13 豊明 25 | 13 享栄 21 | 12

熱田 19 | 6 名古屋南 21 | 13 名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9

鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13 名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11

星城 14 | 13 豊明 25 | 13 享栄 21 | 12 熱田 19 | 6

名古屋南 21 | 13 名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9

昭和 19 | 13 名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11 星城 14 | 13

豊明 25 | 13 享栄 21 | 12 熱田 19 | 6 名古屋南 21 | 13

名古屋南 24 | 10 松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13

名城大付 14 | 10 日進西 14 | 11 星城 14 | 13 豊明 25 | 13

享栄 21 | 12 熱田 19 | 6 名古屋南 21 | 13 名古屋南 24 | 10

松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9 昭和 19 | 13 名城大付 14 | 10

▼1回戦

瑞陵 8 | 15 昭和 14 | 17

名城 11 | 11 鳴海 17 | 16

星城 11 | 11 日進 7 | 8

3 P T C S 2

▼2回戦

若宮商 12 | 5 日進西 12 | 13

昭和 21 | 13 名古屋南 13 | 8

天白 15 | 8 熱田 15 | 8

名古屋南 13 | 8 星城 9 | 8

▼3回戦

若宮商 21 | 2 豊明 21 | 2

富田 7 | 6 高蔵 7 | 6

桜台 13 | 4 中村 13 | 4

松蔭 25 | 7 昭和 25 | 7

惟信 10 | 10 向陽 10 | 10

名古屋南 13 | 8 熱田 13 | 8

天白 11 | 8 名古屋南 11 | 8

▼3回戦

若宮商 15 | 10 富田 15 | 10

桜台 10 | 9 松蔭 10 | 9

天白 11 | 9 惟信 11 | 9

▼3位決定戦

若宮商 23 | 8 惟信 23 | 8

若宮商 5 | 3 若宮商 5 | 3

▼尾張支部予選

天白 5 | 8 11 | 4

名古屋南 14 | 9 鳴海 14 | 9

松蔭 16 | 15 昭西 16 | 15

日進西 19 | 18 名城大付 19 | 18

▼3回戦

瑞陵 21 | 13 名古屋南 24 | 10

松蔭 13 | 9 鳴海 14 | 9

予選りー

▼Aブロック

小牧南 22 | 7 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

小牧南 23 | 8 小牧南 23 | 8

TOYOTA

WANTED  
New CELICA





蟹	▼1 決勝	一宮	蟹	▼準決勝	犬山	尾山	犬山	▼5、6位決定戦	一宮	稲沢	五条	蟹江	▼2 回戦	尾西	一宮	稲沢	一宮	犬山	五条	蟹江	小牧	▼1 回戦	■決勝トーナメント	小牧	尾西	尾西	▼Hプロック	一宮	尾関	尾関	▼Gプロック	津島	稲沢	稲沢	▼Fプロック
江24		28	23		27	13	19		15	10	15	16		15	19	12	16	14	15	28	25			17	12	12		15	12	18		12	28	18	
1113		8	13		10	10	16		6	9	13	10		6	11	7	8	10	4	10	7			13	7	10		9	12	11		8	6	6	
13																																			
一宮		稲沢	五条		尾西	一宮	小牧		尾西	一宮	犬山	小牧		美和	尾関	一宮	平織	佐織	津島	一宮	小牧			丹羽	丹羽	小牧		一宮	一宮	一宮		尾北	尾北	津島	

犬山	犬山	木川	木川	尾西	▼Eプロック	小牧	新川	新川	江川	江川	江川	▼Dプロック	美和	一宮	一宮	佐屋	佐屋	佐屋	▼Cプロック	一宮	一宮	一宮	西春	西春	西春	▼Bプロック	稲沢	尾北	尾北	蟹江	蟹江	蟹江	▼Aプロック	予選リーグ
21	13	22	12	9		7	14	11	15	19	15		8	25	19	22	32	17		8	19	12	25	15	14		24	11	14	22	16	21		
10	9	7	7	4		7	5	7	8	5	5		3	4	2	1	0	8		8	10	9	2	7	2		3	6	10	8	3	8		
五条	尾西	五条	犬山	木川		津島	津島	小牧	小牧	新川		津島	津島	美和	津島	美和	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮		岩倉	岩倉	稲沢	岩倉	稲沢	尾北		

半田	半田	半田	半田	▼Aプロック	■1次リーグ	佐屋	▼1 決勝	一宮	▼準決勝	西春	江川	西春	▼5、6位決定戦	一宮	木川	佐屋	蟹江	▼2 回戦	一宮	木川	西春	一宮	▼1 回戦	■決勝トーナメント	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	一宮	▼Fプロック	尾西
17	19	15	14			5	12		15	27	10	7	14		15	20	10	10		15	16	17	15		7	20	8	18	23	14		18		
7	5	2	9			3	4		6	3	8	2	12		7	10	2	9		3	5	4	8		7	1	7	2	4	4		9		
東浦	大府	東浦	半田			一宮	木川		蟹江	一宮	一宮	一宮		一宮	江西	江西	江西	一宮		尾北	一新	犬山				平和	平和	一宮	一宮	一宮	一宮	五条		

半田	半田	半田	半田	▼Aプロック	■1次リーグ	阿久比	阿久比	阿久比	▼1、3位決定戦	東海	半田	大府	▼4、6位決定戦	知多	武豊	武豊	東海	東海	東海	阿久比	阿久比	阿久比	▼Cプロック	横須賀	大府	大府	半田	半田	半田	半田	▼Bプロック	東浦	半田	
22	18	14				19	21	13		14	8	18		12	11	11	21	11	11	21	14	12	14		16	14	12	21	24	12		11	21	
7	5	8	10			11	10	12		13	7	16		5	6	7	9	2	7	14	12	12		13	12	10	10	8	2		4	13		
東海	常滑	知多	阿久比			阿久比	阿久比	半田		半田	大府	東海		常滑	常滑	知多	知多	知多	知多	武豊	武豊	東海		知多	知多	横須賀	横須賀	横須賀	横須賀	大府	大府	東浦	半田	

**一瞬のきらめきと**

**積極果敢な**

**チャレンジャー**

誰もいないグラウンド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のつぼと化してしまう。

セノも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場

**Senoh®**

本社 / 東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

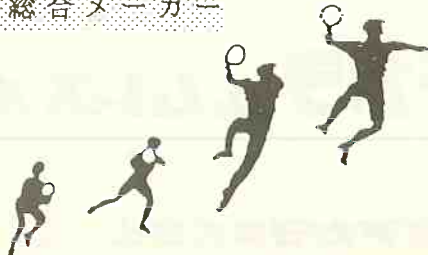
▼1回戦	武豊	半田商	半田商	▼1 1位決定リーグ	半田東	阿久比	阿久比	▼4 6位決定戦	常滑	桃陵	桃陵	半田商	半田商	半田商	▼C ブロック	横須賀	東海商	東海商	半田東	半田東	半田東	武豊	武豊	武豊	武豊	▼B ブロック	常滑北	知多東	知多東	阿久比	阿久比	阿久比
	11 9	19 10	22 5	8 5	15 9	7 3		14 13	17 4	14 11	21 1	19 5	23 5	8 7	12 3	24 5	13 5	23 3	10 6	20 2	22 3	12 11	10 3	7 5	6 4	6 5	13 3	14 5	5 4			
	半田	半田	武豊	桃陵	桃陵	半田東		大府	大府	常滑府	常滑府	桃陵		東浦	東浦	横須賀	横須賀	東海商	東海商	東海商	横須賀	横須賀	半田東		東海商	東海商	常滑北	東海商	東海商	常滑北	東海商	知多東

岡崎西	岡崎西	岡崎西	▼決 勝リーグ	岡崎東	豊野	豊野	岡崎北	岡崎北	▼5 8位決定リーグ	岡崎西	岡崎南	豊田南	豊田南	岡崎西	刈谷東	岡崎東	岡崎東	豊野南	豊野南	岡崎北	豊田北	▼2 回戦	衣谷	三好	刈谷	碧谷	一色	三河	安城東	岡崎北	安城東	豊田南	豊田南
21 19	27 7	19 14	21 9	24 12	27 17	33 19	27 14	20 20	33 21	不 明	26 19	23 17	18 17	23 3	17 16	19 6	22 10	23 9	16 9	21 8	12 11	23 5	15 8	12 6	10 9	20 6	24 15	23 13	23 8	8 7	26 10		
豊田南	豊田南	豊田南	岡崎	刈谷	刈谷	岡崎東	岡崎東	豊野	刈谷	岡崎東	岡崎北	豊田南	豊田南	衣谷	三好	碧谷	一色	三河	安城東	安城東	知立東	西尾東	安城東	幸谷	刈谷	高尾	西尾	刈谷	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	

知立	岡崎	岡崎	豊野	豊野	豊野	▼5 8位決定リーグ	岡崎西	三好	豊田南	▼3 回戦	安城学園	岡崎西	知立	岡崎東	三好	豊田南	岡崎南	豊田南	岡崎南	豊田南	▼2 回戦	安城学園	安城東	知立北	岡崎東	岡崎東	衣谷	安城	岩津	刈谷	西尾	豊野	豊田	▼1 回戦	豊田南	岡崎
17 10	24 22	10 9	17 14	7 7	21 9	13 7	31 9	10 9	26 10	19 2	11 6	14 9	22 0	13 5	13 8	17 9	22 5	10 2	20 6	20 7	29 9	29 0	7 4	16 8	13 6	20 6	17 0	25 5					27 14	23 17		
岡崎東	岡崎東	知立東	岡崎東	知立東	岡崎東	知立東	岡崎東	豊野	安城東	岡崎東	衣谷	安城東	岩津	刈谷	西尾	豊田	岡崎南	豊田南	岡崎南	豊田南	▼1 回戦	安城東	安城東	知立東	岡崎東	刈谷	安城南	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	豊田南	

市芸	春日井	春日井	旭丘	守山	春日井	高蔵寺	明和	栄徳	春日井	▼2 回戦	旭野	春日井	守山	春日井	長久手	千種	名付	明和	栄徳	愛知工	▼1 回戦	岡崎西	三好	三好	安城学園	安城学園	安城学園	▼決 勝リーグ	豊田南	豊田南	
26 20	18 11	23 9	15 10	18 15	28 14	18 12	22 5	34 8	1 P T C 0	17 17	25 8	19 11	21 10	26 15	11 11	17 15	21 14	34 8	15 13	17 14	25 4	16 16	3 P T C 2	24 6	25 5	12 8	28 3	13 7	12 8		
春日井	高蔵寺	栄徳	旭野	春日井	長久手	千種	名付	春日井	愛知工	愛知工	東邦	名東	春日井	東海	瀬戸	菊里	瀬戸	春日井	名古屋	瀬戸	山田				豊田南	豊田南	岡崎西	豊田南	岡崎西	三好	三好

体操施設の総合メーカー



日本ハンドボール協会検定品製造工場

株式会社 **小川長春館**

〒721 広島県福山市引野町 5 - 46  
TEL (0849) 41 - 0230



春日井西	春日井	旭野	春日井西	春日井東	春日井	旭野	高藏寺	春日井南	春日井西	春日井東	守山	愛知商	春日井	2回戦	淑徳	高藏寺	春日井南	瀬戸	名古屋商	春日井東	市芸	守山	愛知商	北	1回戦	守山	明和	準決勝	守山
19	25	24	25	23	16	15	21	19	18	17	20	26	26	1	9	14	17	18	22	14	26	28	10	16		22	22	18	
10	13	5	4	16	14	9	8	10	11	11	9	2	6	P	9	11	11	8	7	8	11	3	7	15		20	19	11	
旭野	春日井東	高藏寺	春日井南	守山	愛知商	淑徳	瀬戸西	瀬戸	名古屋商	菊里	市芸	東邦	北		西陵商	千種	市邨	名古屋西	名古屋東	相山	名大付	瀬戸北	春日井商	長久手		市芸	春日井南	旭丘	

豊橋工	浦郡東	桜丘	豊橋工	三谷水産	1回戦	豊橋西	時習館	時習館	Dプロック	蒲郡	豊橋工	豊橋工	桜丘	桜丘	豊橋工	御津	御津	豊川工	豊川工	豊川工	Bプロック	国府	蒲郡東	蒲郡東	三谷水産	三谷水産	Aプロック	予選リーグ	東三河支部予選
17	19	22	19	18		17	16	11		16	13	23	22	13	19	11	19	19	18	16	17	12	19	21	22	11	11		
9	13	10	10	18		9	10	7		13	5	9	5	7	14	7	8	10	8	8	11	8	11	11	12	11			
二谷水産	豊川工	豊橋西	時習館	御津		豊橋商	豊橋商	豊橋西	豊橋南	豊橋南	蒲郡	豊橋南	蒲郡	豊橋工	新東	新東	豊城	新東	豊城	御津		豊橋東	豊橋東	国府	豊橋東	国府	蒲郡東		

春日井南	浦郡東	守山	名古屋	中京	愛知	岡崎北	蟹江	犬山	東海	豊田	桜丘	岡崎西	1回戦	豊橋西	国府	豊橋商	豊橋西	豊橋商	豊橋商	豊橋西	1回戦	桜丘	三谷水産	3位決定戦	蒲郡東	蒲郡東
30	19	22	32	28	16	19	21	17	24	21	15	34		11	11	17	23	13	32	14	21		12	12	20	
6	14	17	18	7	8	13	18	13	9	17	12	6		5	5	13	8	5	2	9	15		6	5	9	
半田東	豊田	瑞陵	尾西	稲沢	一宮	三谷水産	市芸	半田	大府	昭和	岡崎	阿久比		7豊橋商	蒲郡	国府	蒲郡	時習館	宝陵	豊橋南		11豊橋工	蒲郡東	蒲郡東		

佐屋	三好	旭野	桜台	緑丘	一宮	岡崎西	東海	1回戦	桜台	愛知	準決勝	中京	愛知	東海	3回戦	春日井南	守山	中京	愛知	蟹江	東海	桜丘	2回戦	桜台	向陽	
23	29	11	15	21	26	18	23		11	20	25	19	24	24	4	30	17	25	19	21	24	22	15	26	21	
5	5	8	8	13	3	7	16		8	12	9	23	15	13	3	18	9	16	18	2	14	17	13	5	15	
阿久比	豊橋商	木曾	江川	豊野	武井	春日井	岡崎		12愛知	中京	東海	春日井南	守山	蟹江	桜丘	向陽	明和	蒲郡東	名古屋	岡崎	犬山	豊田	岡崎	豊橋	豊野	五条

※桜台は2年連続12回目の優勝。  
(女子)



日本が生んだ世界のボール  
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)

# タチカラミレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた  
L・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ株式会社 東京都台東区松ヶ谷1-11-7 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

半田商	26	13	蟹江
中京女	21	7	国府
若宮商	23	12	半田
春日井西	23	10	東郷
西春	25	7	蒲郡
豊橋西	24	13	春日井東
豊田南	11	5	鳴海
▼2回戦			
東海女	17	4	岡崎西
緑丘商	18	14	一宮女
桜台	11	6	旭野
佐屋	15	9	三好
安城学園	22	20	半田商
中京女	22	8	若宮商
春日井西	23	11	西春
豊橋西	16	8	豊田南
▼3回戦			
東海女	24	14	緑丘商
佐屋	19	7	桜台
安城学園	24	12	中京女
春日井西	30	13	豊橋西
▼準決勝			
東海女	26	16	佐屋
春日井西	18	13	安城学園
▼決勝			
東海女27	1413	63	9春日井西

# 北信越

※東海女は初優勝。

## 国体新潟県予選

(7月22日/柏崎工業高校)

(少年男子)

▼1回戦

# 九州

## 第28回(女子第15回)全九州学生選手権

(日程場所不明)

(男子)

予選リーグ

。Aブロック

長岡高専	21	18	信崎工高
三条工高	28	8	長岡大手高
▼準決勝			
柏崎高	25	10	長岡高専
新潟江南高	24	10	三条工高
▼決勝			
柏崎高17	98	310	13新潟江南高
▼成年男子1部			
新潟選抜38	1325	1110	21新潟教員
▼成年男子2部			
全新潟32	1517	34	7長岡高専
			0 B

九州大	25	21	久留米工大
九州大	21	20	宮崎大
宮崎大	40	17	鹿経済大
宮崎大	26	21	久留米工大
久留米工大	30	15	鹿経済大
▼Dブロック			
長崎大	23	10	鹿児島大
第一工業大	24	17	鹿児島大
鹿児島大	21	16	福岡工大
第一工業大	34	28	長崎大
長崎大	25	25	福岡工大
第一工業大	27	19	福岡工大
▼Eブロック			
福岡教育大	25	18	琉球大
福岡教育大	22	19	福岡教育大
沖繩国際大	48	12	九州共立大
福岡教育大	26	12	九州共立大
沖繩国際大	25	13	琉球大
琉球大	26	12	九州共立大
沖繩国際大	36	22	九州共立大
▼Fブロック			
東和	42	15	熊本商大
東和	37	14	長崎総科大
東和	41	10	熊本工大
長崎総科大	30	24	熊本商大
熊本工大	17	15	熊本商大
長崎総科大	28	22	熊本工大
▼準決勝リーグ			
福岡大	43	10	九州産大
福岡大	33	7	九州大
九州産大	26	22	九州大
▼Yゾーン			
沖繩国際大	30	10	第一工業大
東和	34	18	第一工業大
東和	29	13	沖繩国際大

九州大	14	第一工業大	
▼3位決定戦			
九州産大	24	20	沖繩国際大
▼決勝			
福岡大32	1715	1012	22東和
▼予選リーグ			
福岡大	38	14	沖繩国際大
福岡大	25	16	琉球大
福岡大	44	5	宮崎大
福岡大	14	6	宮崎大
琉球大	30	7	宮崎大
沖繩国際大	37	6	宮崎大
琉球大	30	6	宮崎大
▼Bブロック			
福岡教育大	29	16	熊本短大
福岡教育大	29	18	九州女大
福岡教育大	34	10	東海福短大
福岡教育大	35	10	長崎大
九州女大	20	19	熊本短大
熊本短大	22	10	東海福短大
九州女大	26	9	長崎大
九州女大	36	13	東海福短大
九州女大	38	6	長崎大
長崎大	27	16	東海福短大
▼決勝リーグ			
福岡大	25	16	琉球大
福岡大	22	16	福岡教育大
福岡大	30	13	九州女大
福岡教育大	18	11	琉球大
九州女大	17	13	琉球大
福岡教育大	29	18	九州女大
福岡教育大	18	18	九州女大
九州女大	29	18	九州女大
九州女大	29	18	九州女大
九州女大	29	18	九州女大



**打ちこんでしまう性格です。**

好きなことを、好きにだけやっていると、ここまできた。  
面白いなあ、楽しいな、うれいいなど言っているうちに、ここにいた。  
ボールいっつこあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無類の幸せ者なんだ、と思います。

**TANGO molten**

株式会社 **モルテン molten**

HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000  
●天然皮革 ●最高級品・手縫い  
日本リーグ男子試合球

株式会社 東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 千130 ☎03-625-7581代  
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフW.G.



# 機関誌ハンドボール

## 「300号」のあゆみ④

### ▼第20号(1981年10月)

- ・韓国で見たハンドボール／新井節男
- ・第10回世界男子選手権アジア予選
- ・男子世界選手権大会について／境井秀三
- ・第10回全国中学校大会
- ・日本リーグに初の外人選手
- ・東日本学生選手権大会
- ・強化部会報告
- ・各地学生秋季リーグ戦
- ・ゲーム中のボールスピードについて
- ・IHF審判講習会報告(3)

### ▼第203号(1981年12月)

- ・第33回全日本総合選手権大会
- ・湧水薬品、ジャスコが昨年に続き「王者」の座に！
- ・第6回日本リーグ後期
- ・海外トピックス
- ・TiB48が関東地区で交歓試合
- ・プレスルーム
- ・日本のハンドボールゲームの数量的分析①
- ・昭和55年度トレーニング・ドクター群報告

### ▼第204号(1982年2月)

- ・全日本男子ヨーロッパ転戦報告
- ・第3回世界男子ジュニア選手権をふり返って／木野実
- ・第3回世界女子ジュニア選手権
- ・二巡目の国体を考える／安藤純光
- ・第1回日本リーグオールスターゲーム
- ・コーチ中央研修会
- ・日本のハンドボールゲームの数量的分析③
- ・昭和55年度トレーニング・ドクター群報告③

### ▼第205号(1982年3月)

- ・世界選手権代表決ま
- ・全日本男子ヨーロッパ遠征

### ▼第206号(1982年4月)

- ・第5回全国高校選抜大会
- ・第10回日韓女子社会人交流／日本、全敗を喫す
- ・日本ハンドボール協会公認指導者資格別登録現況
- ・都道府県公認スポーツ指導者登録現況

### ▼第207号(1982年5月)

- ・第10回世界男子選手権詳報
- ・全日本女子ヨーロッパ遠征

### ▼第208号(1982年6月)

- ・第8回世界女子選手権アジア予選
- ・個人の逞しさ不足を反省／竹野奉昭
- ・日中交流／選手層に厚味を増した中国
- ・関東、関西学生が西ドイツ遠征
- ・第23回全日本男子実業団選手権
- ・スカイプレーを考える／川上整司
- ・海外トピックス

### ▼第209号(1982年7月)

- ・第7回日本リーグ前期
- ・関東学生春季リーグ戦
- ・ミニハンドボールについて／河村レイコ／水上一
- ・昭和57年度補正予算
- ・昭和57年度特別会計予算

### ▼第210号(1982年8月)

- ・第33回全日本高校選手権大会
- ・L・プラハ国際招待
- ・昭和57年度男子ナショナルチーム
- ・昭和57年度女子ナショナルチーム

### ▼第211号(1982年9月)

- ・第11回全国中学校大会を見て／安藤純光／川上整司
- ・ニュージーランド遠征に同行しての所感／内海倫
- ・海外研修を終えて／榎塚正一
- ・競技規則について／斎藤和夫
- ・東日本学生選手権
- ・西ドイツ女子チーム来日
- ・西日本学生選手権
- ・全国クラブ選手権

### ▼第212号(1982年10月)

- ・くにびき国体をふり返って／藤原忠男
- ・くにびき国体熱戦譜
- ・くにびき国体総評／北川勇喜
- ・第19回IHF総会報告／荒川清美
- ・第9回アジア大会日本代表メンバー決まる
- ・第7回日本リーグ後期展望
- ・安藤純光

### ▼第213号(1982年11月)

- ・アジア競技大会初参加に想う
- ・荒川清美
- ・第34回全日本総合選手権大会組合せ決まる
- ・第7回日本リーグ総評／安藤純光
- ・第7回日本リーグ後期
- ・第14回全日本自衛隊選手権

昭和57年度関東学生秋季リーグ戦

・第19回IHF総会報告  
・ユーゴスラビアに留学して  
／島村護

▼第214号(1982年12月)

・アジア大会  
―決勝で中国に苦敗  
―参加選手の声  
・第25回全日本学生選手権大会  
・第10回日韓ジュニア交流  
・各地学生リーグ戦

▼第215号(1983年2月)

・第34回全日本総合選手権大会総評／安藤純光  
・第2回日本リーグオールスター戦  
・第9回アジア大会を戦い終えて  
／竹野泰昭

・AHF総会報告  
・日体大ルーマニア遠征記  
・第8回世界女子選手権  
・新しい年の財政・財源について  
／清水正

・協会告知板

▼第216号(1983年3月)

・昭和57年度全国高校選抜大会組合せ決まる  
・男子出場校メンバー  
・女子出場校メンバー  
・特別原稿／西田啓  
・第14回全日本実業団男子トーナメント大会

・第1回顧問会議開か

・全日本大会の審判を顧りみて  
・第9回アジア大会に参加して  
光島磯雄・佐分正典  
・神奈川県高校におけるハンドボール実施状況／設楽孝治

▼第217号(1983年4月)

・ごあいさつ  
会 長 斉藤英四郎  
専務理事 大野 金一  
新執行部決まる  
・第6回全国高校選抜大会  
・公認コーチ養成講習会  
・強化部総会議事録  
・小学生のハンドボール指導における一考察／角紘昭  
・昭和58年度事業計画予定表

▼第218号(1983年5月)

・ごあいさつ  
副会長 荒川清美  
副会長 武田喜三  
強化担当理事 渡辺慶寿  
・男、女監督決まる  
特別座談会  
関東ジュニア西独研修遠征  
関東、関西学生西独遠征  
・アジア協会理事會報告  
・西ドイツ協会機関誌よりのレポート

・海外交流ニュース  
・第8回日本リーグ日程表

▼第219号(1983年6月)

・フランスナショナルチーム来日

決定

・男・女監督、その決意を語る  
・第24回全日本実業団選手権  
・第8回日本リーグの話題を探る  
・関東ジュニア研修訪独旅行を終えて／小西、原ほか  
・海外トピックス  
・西ドイツ協会機関誌よりのレポート

▼第220号(1983年7月)

・関東学生春季リーグ戦  
・私の新著紹介／新井節男

▼第221号(1983年8月)

・ロサンゼルス・オリンピックアジア予選、日本開催が決定  
・フランスナショナルチーム紹介  
・昭和58年度全国高校総体組合せ  
・海外トピックス  
・第1回国際審判員研修會報告  
・各地学生リーグ戦

▼第222号(1983年9月)

・第8回日本リーグ前期  
・インテラムニアカップ  
・全日本女子ジュニア初優勝  
・情報化社会に対応しよう／小西博喜  
・第4回全国クラブ選手権  
・拝島中学10年間のあゆみ／青木徹

・海外トピックス  
・第10回全日本自衛隊選手権大会

▼第223号(1983年10月)

・皇太子殿下、皇太子妃殿下をお迎えして／清水正

・高校総体  
／中西敬一

・高校総体戦いの跡  
・フランスチームを迎えて  
・日韓ジュニア交流  
・第4回世界選手権ジュニア男子アジア地区予選を省みて／早川清孝  
・特別グラフ  
・愛知インターハイ  
・フランス対全日本

▼第224号(1983年11月)

・ロサンゼルス・オリンピックアジア予選組合せ決まる  
・アジア予選のみどころ  
・第12回全国中学校選抜大会  
中学大会雑感  
特別手記  
安慶田中学 比嘉和直  
寺井中学 井川邦彦

▼第225号(1983年12月)

・第5回東日本学生選手権  
・第22回西日本学生選手権  
・第26回全日本教職員選手権  
・素晴らしかったイタリア遠征

▼第226号(1983年12月)

・第38回あかぎ国体総評  
・第3回アジア選手権大会詳報／渡辺慶寿  
・第8回日本リーグ女子  
・関東学生秋季リーグ戦

・第8回日本リーグ女子  
・第8回日本リーグ女子

▼第227号(1983年12月)

・ロス・オリンピック、男子出場権獲得  
・アジア地区予選を終えて

**JUKI**

Mind & Technology

JUKIは、衣文化を創造します。

JUKI株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 電話:(03)480-1111(代)

工業用ミシン ● アパレルシステム機器 ● 皮革厚物機器 ● 家庭用ミシン ● 家電製品 ● 家庭用品 ● 電子産業装置 ● 電子機器



- ・アジア地区予選戦いの跡
- ・全日本学生選手権大会総評
- ・全日本学生選手権大会
- ・IHFシンプジュウム報告
- ・第10回全国教員養成大学研修会
- ・ロスへみんなて応援に行こう

- ・関東・関西学生選抜ヨーロッパ遠征
- ・科学研究委員会報告(1)
- ・IHFシンプジュウム報告(3)
- ・実戦から見た技術講座
- ・海外トピックス
- ・4月～6月のイベント

- ・合わせ
- ・第25回全日本実業団選手権大会
- ・関東、関西高校選抜西ドイツ遠征印象記
- ・科学研究委員会報告PARTII
- ・大学春季リーグ戦

- ・第20回全日本教職員選手権
- ・第4回全国クラブ選手権
- ・東日本学生選手権
- ・西日本学生選手権
- ・イオン・クンストのハンドボール(第6報)

▼第26号(1984年2月)

- ・第35回全日本総合選手権大会
- ・湧永、堂々の5連勝
- ・昭和58年度公認ハンドボールコーチ研修会報告
- ・成果あがった高校生(男子)ハンドボール研修会
- ・審判部合同委員会議事録
- ・IHFシンプジュウム報告(第2回)

▼第29号(1984年5月)

- ・さらに飛躍の年度に／大野金一
- ・第7回全国高校選抜大会総評／金原至
- ・第7回全国高校選抜大会全記録
- ・イオン、クンストのハンドボール
- ・5～7月のイベント

▼第23号(1984年9月)

- ・ロサンゼルスオリンピックを終えて／大野金一
- ・あらゆる重圧を越えて善戦した／渡辺慶寿
- ・日本チーム全戦績
- ・オリンピック全試合成績・勝敗表・日本選手全成績
- ・第35回インターハイ詳報
- ・浦和実業団の初優勝(男子)
- ・熊本市立24年ぶりの復活

▼第25号(1984年11月)

- ・第9回日本リーグ
- ・インターハイ／全国制覇を果たした喜び
- ・熊本市立／泉流
- ・浦和実／上田克彦
- ・第23回オリンピック競技大会報告書／市原則之
- ・11月～1月のイベント

▼第27号(1984年3月)

- ・選抜大会で高校スポーツ界の春開く
- ・全国高校選抜大会組合せ
- ・第8回日本リーグ男子湧永、完全優勝で四冠達成
- ・全日本総合選手権に優勝して
- ・第15回全日本実業団男子トーナメント大会
- ・昭和58年度公認ハンドボールコーチ研修会報告／イオン・クス
- ・トンのハンドボール
- ・昭和59年度日本体育協会公認ハンドボールコーチ養成専門教科講習会実施要項

▼第23号(1984年6月)

- ・ロサンゼルス・オリンピック出場選手決まる
- ・ロサンゼルス・オリンピック派遣選手団メンバー
- ・ジャパンカップ'84で全日本男子世界のユーゴに善戦
- ・男子ナショナルチーム欧州遠征報告
- ・海外遠征記録
- ・イオン・クンストのハンドボール(4)
- ・IHFシンプジュウム報告(4)
- ・第9回日本リーグ日程表

▼第23号(1984年10月)

- ・全日本男子チーム新監督・野田清氏に決定
- ・第13回全国中学校大会戦いの跡
- ・優勝・感激手記 神奈川県岩崎中学／山口和男
- ・第11回全国教育養成大学研修会報告

▼第27号(1985年2月)

- ・第36回全日本総合選手権
- ・第27回(女子20回)全日本学生選手権大会
- ・第4回日本リーグオールスター戦
- ・〈技術講座〉レフェリー技術についての反省と回顧
- ・三国対抗・高校生国際親善大会
- ・各地学生リーグ戦(2部以下)

▼第28号(1984年4月)

- ・世界の雄・ユーゴが来日

▼第21号(1984年7月)

- ・ロサンゼルス・オリンピック組
- ・合わせ決まる
- ・第34回全日本高校選抜大会組

▼第24号(1984年10月)

- ・第11回全国教育養成大学研修会報告



創業72年

# 中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

▼第238回(1985年3月)

- ・第8回全国高校選抜大会 晴れの代表校決まる!
- ・競技規則改正について/ルール研究委員会
- ・〈特別寄稿〉一線防衛型(6-0)における攻撃の展開

▼第239号(1985年4月)

- ・速報 第8回全国高校選抜大会ごあいさつ/会長・斎藤英四郎/専務理事・大野金一
- ・昭和60・61年度常務理事職務分掌
- ・世界選手権Bグループ 東ドイツ快勝
- ・第16回全日本男子実業団トーナメント大会
- ・これからの体力トレーニングを考える/渡辺慶寿
- ・日本ハンドボール史編集委だよ
- ・審判部合同議事録

▼第240号(1985年5月)

- ・第8回全国高校選抜大会
- ・アメリカで学んだこと/渡辺慶寿
- ・日本ハンドボール史編集委だよ
- ・日本リーグ前期日程
- ・ジュニアヨーロッパ遠征

▼第241号(1985年6月)

- ・昭和60年度日本協会各委員会
- ・日中国際親善大会 全日本男子

デビュー戦飾れず

- ・アメリカで学んだこと③/渡辺慶寿
- ・チュンチエンカップ報告
- ・ホンコン国際報告
- ・日本ハンドボール史編集委だよ
- ・昭和60年度各都道府県協会役員

▼第242号(1985年7月)

- ・大同特殊鋼選手の不祥事について
- ・第26回全日本実業団選手権
- ・関東学生春季リーグ戦
- ・アメリカで学んだこと(最終会)/渡辺慶寿

▼第243号(1985年8月)

- ・第9回世界学生選手権大会報告
- ・日本は12位!
- ・第10回日本リーグ前期/湧水、立石が首位で折り返す
- ・国際レフェリーシンポジウム報告

▼第244号(1985年9月)

- ・第36回インターハイ
- ・第13回インテラムニアカップ
- ・日本女子ジュニア健闘、強敵相手に第3位に
- ・全日本男子アメリカ遠征報告

▼第245号(1985年10月)

- ・第14回全国中学校大会
- ・第28回全日本教職員選手権
- ・第5回全国クラブ選手権

・第12回全国高専大会

- ・第12回全国教員養成大学研修会報告
- ・東日本学生選手権
- ・西日本学生選手権
- ・85年度日韓ジュニア交流競技会
- ・第10回日本リーグ後期日程表

▼第246号(1985年11月)

- ・第11回男子世界選手権大会アジア地区第1次予選/日本世界選手権出場権を得られず
- ・各地で「ちびっこ」の交流の輪が広がる
- ・ナショナルチーム監督の選考方式に具体的基準を持ち込む考え
- ・方
- ・エッセンチームから学んだこと
- ・国際レフェリーシンポジウム報告II

▼第247号(1985年12月)

- ・速報/第10回日本リーグ、第28回全日本学生選手権
- ・第40回国民体育大会
- ・第5回女子ジュニア世界選手権大会
- ・国際レフェリーシンポジウム報告III
- ・各地学生秋季リーグ戦結果
- ・提言

▼第248号(1986年2月)

- ・第37回全日本総合選手権
- ・第5回世界ジュニア男子選手権
- ・第10回日本リーグ詳報

・第28回(女)21回)全日本学生選手権

- ・オセオニア選手権大会参加報告
- ・提言

▼第249号(1986年3月)

- ・第9回全国高校選抜大会組合せ
- ・第17回全国実業団トナメント大会/三景昨年の屈辱晴らし優勝
- ・昌文女子高校招待 日韓高校交流交流を終えて/原信雄
- ・〈特別寄稿〉最近の西ドイツの学生事情に思う/小西博喜
- ・国際レフェリーシンポジウム報告IV/光島磯雄
- ・レフェリーレポート/斉藤実/千野恒夫

▼第250号(1986年4月)

- ・第9回全国高校選抜大会速報
- ・男子ナショナル遠征報告
- ・第11回世界男子選手権
- ・ハンドボールブレイヤーの体力に関する横断的研究(トレーニングドクター群)
- ・小西博喜氏の西ドイツ通信
- ・男子ナショナル監督、野田氏が復帰

# ねばりは頑張り 気力は体力

医薬品



キョーレオピン

医薬品



レオピンファイブ

効能・効果

- 滋養強壮●虚弱体質
- 肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
- 発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

- 札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901
- 大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382



# スーパースhootを見せてほしい。

踏み付け部エッジの傾斜が、スパイラルソールが、そしてαゲルが、果敢な攻撃を可能にする。

# ス



品名 スカイハンド® ジャパンα-S 品番 THH711

メーカー希望小売価格 ¥14,700 (消費税抜き)

カラー/ ●ホワイト×黄 レッド・マリンブルー ●ホワイト×黄 マリンブルー・レッド

サイズ/22.5-29.0cm

α GEL 

アシックス



JSS 1005

アシックスは  
オリンピックキャンペーンの  
オフィシャルスポンサーです。

**asics**  
ATHLETIC SHOES

株式会社 **アシックス**

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233 (専用)・(078) 303-3333 (大代表)  
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814 (専用)・(03) 624-2221 (大代表) ●®は®アシックスの登録商標です。

## もっと大きな声で 夢を語りあいたいな

夢を語るときの瞳は、  
いつもキラキラ輝いています。  
夢を、未来を、カタチに変える、  
そんな新時代への冒険心を  
大同特殊鋼は大切にしたいと思います。  
夢を語りあいたい……あなたと。

**"With You"**

**大同特殊鋼**

本社 〒460 名古屋市中区錦1-11-18 (興銀ビル)

TEL (052) 201-5111

支社 東京 / 支店 大阪

'91広島

# アジアハンドボール選手権大会 を成功させよう!!

— 第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会  
兼バルセロナオリンピックピックアジア地区予選 —

(日程) 一九九一年八月二十二日(木)～九月一日(日)

(大会会場) 広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

(財)日本ハンドボール協会  
広島県ハンドボール協会



〔財〕日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』

第三〇三号

昭和四十年六月七日 平成二年十月二十六日 印刷  
第三種郵便物認可 平成二年十一月一日 発行

東京都渋谷区神宮前1-1-1  
電話 代表 (03) 2336-1111  
振替 東京 六一五八三四八番  
編集兼 安藤純光  
発行人

定価三百五拾円  
年間購読料  
二千三百円



桜田淳子は、東洋証券が、  
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク

**中期国債ファンド**

公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投信)



**東洋証券**

■本 店 103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電 話 : 03(274)0211  
■全国43支店 ■海 外 : ロンドン・ニューヨーク・香港  
■資本金 100億2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場